

第 60 回日本生物物理学会年会シンポジウム企画の募集

第 60 回日本生物物理学会年会実行委員会

プログラム担当 菊川峰志（北海道大学先端生命科学研究院）

年会長 金城政孝（北海道大学先端生命科学研究院）

第 60 回日本生物物理学会年会のシンポジウム企画を募集いたします。詳細については下記の募集要項をご覧ください。会員の皆様のご応募をお待ちしております。

日時：2022 年 9 月 28 日（水）～ 30 日（金）

会場：函館アリーナ・函館市民会館（〒042-0932 北海道函館市湯川町 1 丁目）

発表形式：口頭

使用言語：英語

※函館年会は、対面での開催とし、一般演題はポスター形式でご発表頂く予定です。会員の皆様には、現地でのご参加を第一にお考え頂きますが、ウイルス感染状況等により、現地へお越し頂けない方には、オンラインでご発表・ご参加頂けるように、ハイブリッド形式で開催すべく準備を進めております。開催方法の詳細は、遅くとも 2022 年 4 月下旬の演題登録開始前までに決定いたします。

【シンポジウム企画の募集】

2 時間半のシンポジウムを募集します。必要事項（下記 1～7）を記載いただき年会事務局あてにお送りください（様式任意）。採否については実行委員会に一任願います。

1. タイトル（和文と英文）（仮タイトルでも構いません）

2. 概要（英文 100 words 程度）

3. 参加人数見込み（部屋割の際に参考にします）

4. オーガナイザー 2 名の氏名（和英）・所属（和英）

連絡窓口となるオーガナイザーは、連絡先（〒、住所、TEL、E-mail）を記載してください。

※オーガナイザーのうち少なくとも 1 名は日本生物物理学会の会員であること。

5. 予定講演者の氏名・所属・E-mail

6. 学生・博士研究員発表枠*を設けるかどうかの希望

7. 本年会との共催シンポジウム**として申し込むかどうかの希望

*「学生・博士研究員発表枠」とは、ポスター発表に申し込んだ学生・博士研究員のなかから、企画するシンポジウムのテーマに沿った発表を 1～2 件選び、口頭発表も行なっていただく企画です。ポスター発表の申込者に、学生・博士研究員発表枠を希望するかどうか、希望する場合にはどのシンポジウムを希望するかを申告いただきます。オーガナイザーには、希望者のなかから発表者を選んでいただきます。学生や若手研究者の発表機会を増やすために、ご協力いただけますと幸いです。

**「共催シンポジウム」とは、特定の予算のサポートのある研究グループと年会実行委員会との共催でシンポジ

ウムを企画いただくもので、積極的に申し込みいただけますと幸いです。申し込まれる場合は、シンポジウム申し込みと共に、「共催シンポジウム申込書」を合わせてお送りください。「共催シンポジウム」を申し込んでいただいた場合でも、採否は実行委員会にて判断しますことをご了承ください。

【講演者およびオーガナイザーについて】

- 例年にない新しいテーマや講演者によるシンポジウムを歓迎します。
- 複数のシンポジウムでの講演の重複は避けるために、予定講演者には内諾を得るようお願いいたします（バイオフィジックスセミナーでの講演は別扱いとします）。
- 応募多数の場合や、他のシンポジウム企画と内容・予定講演者の重複がある提案については、年会実行委員会から企画の統合などをお願いする場合があります。
- 女性会員や若手会員からの積極的なご応募を歓迎します。
- 講演者には、可能な限り女性や若手をご登用いただきますようお願いいたします。
- 外国人講演者を含めたシンポジウム企画を歓迎します。外国人講演者を含めて、海外在住の発表者の場合は、ウィルス感染状況によらず、オンラインでご発表いただいて構いません。
- 非会員の講演者の年会参加費は無料ですが、懇親会費は有料となります。
- 会員、非会員ともに旅費等の補助はありません。

【協賛企業によるショートプレゼン等の企画について】

本年会では、多くの企業様にご協賛いただくため、ご賛同いただいたシンポジウムにおいては、企業担当者によるショートプレゼンやスクリーン広告放映の時間を設けることを検討しております。採択となったシンポジウム企画のオーガナイザーには、別途、実施形態等をご相談させていただきますので、ご検討をお願い致します。

【ご講演の録画について】

函館年会では全てのシンポジウムの発表を録画し、年会参加登録者による視聴を可能とする予定です。並行開催されるシンポジウムが多いため、多くの年会参加者にご発表を視聴いただけるよう、録画のご了承をお願いいたします。録画した動画はダウンロード防止設定し、年会参加登録者のみが視聴可能な状態にします。また、学会終了の約2週間後に完全に削除します。

- 応募開始 : 2022年1月12日(水)
 - 応募締切 : 2022年2月11日(金)
 - 応募送り先 : 第60回日本生物物理学会年会事務局
- Tel. 06-6350-7163 / E-mail jbp2022@aeplan.co.jp

日本生物物理学会 シンポジウムに関する方針

平成 30 年 12 月 15 日
生物物理学会理事会決定

1. シンポジウムについて

1. シンポジウムのオーガナイザーは 2 名程度で、半数以上は本学会の会員であることを原則とする。
2. シンポジウムの発表者の半数以上は本学会の会員であることを原則とする。
3. 非会員のオーガナイザーおよび発表者の参加費は無料とする。
4. 非会員のオーガナイザーおよび発表者の懇親会費は一般会員と同等とする。
5. 共催・合同・国際交流シンポジウムに関しては、上記規定によらず年会実行委員会の裁量とする。国際交流シンポジウムに関しては、理事会の裁量とする。

2. 参加登録締め切り後の事前参加諸費用適用について

参加登録締め切り後に、座長や審査委員などの学会業務を依頼した場合の参加費・懇親会費は、事前登録者と同等とする。

3. その他

1. オーガナイザーはシンポジウムの発表者となることができる。ただし、オーガナイザーによる発表時間が 5 分以内の導入等(「はじめに」や「まとめ」等)は発表者として扱わない。
2. 連携学会員は一般会員と同等の扱いとする。
3. 本方針の変更は、理事会で行う。

以上